



地域農業の相い手 (農)天草営農組合のみなさん
後列左から 吉田進一郎さん 池田 稔さん 川崎 良信さん
前列左から 横山 博幸さん 大塚 基生組合長 池田 憲昭さん

■発行 JA本渡五和 ■編集責任者 参事 田口真吾
熊本県天草市南新町9-22 TEL 0969-23-2231

農業者年金 知つて得する

終身年金で安心!

農業者の方は、
国民年金の上乗せの
公的な年金「農業者年金」に
加入して安心で豊かな老後を!

ポイント1 農業者なら誰でも入れる「終身年金」です!

ポイント2 一定の要件を満たす方には、
月額最大1万円の保険料補助

ポイント3 加入で大きな節税効果!
保険料は全額社会保険料控除の対象

お問い合わせは天草市農業委員会・JA本渡五和本店におたずねください。
天草市農業委員会 天草市東浜町8-1 TEL 0969-32-6790 (担当:野際)
本渡五和農業協同組合 本店 天草市南新町9-22 TEL 0969-23-2231 (担当:若松)

休日のお知らせ
4月6日(月)・13日(月)・27日(月) 定休日

本渡温泉センター
天草市瀬戸町1-1 ☎0969-24-2181

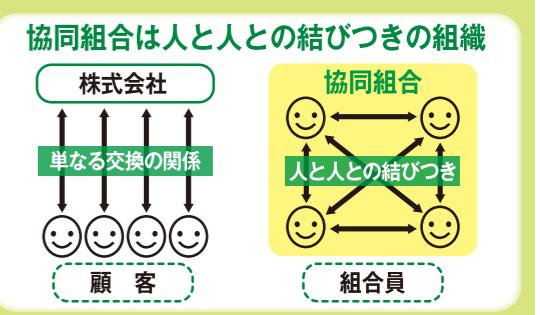


3月と言えば
卒業シーズンで
型コロナウイルスで学校だけではなく、企
業等においても行事や活動
が中止・延期されています。
JA・JAグループでも
研修会や会議は中止の措置
をとっています。感染拡大への防止対策をして
いるところです。ニュースを見
ると、国内の感染者は1日
あたり30~40人ずつ増加し、
全国的に広がっています。
記事にも掲載していますが、
新型コロナウイルスに「う
つらない・うつさない」対
策を守っていきましょう。

(中浦友仁)

後記

3月と言えば
卒業シーズンで
型コロナウイルスで学校だけではなく、企
業等においても行事や活動
が中止・延期されています。
JA・JAグループでも
研修会や会議は中止の措置
をとっています。感染拡大への防止対策をして
いるところです。ニュースを見
ると、国内の感染者は1日
あたり30~40人ずつ増加し、
全国的に広がっています。
記事にも掲載していますが、
新型コロナウイルスに「う
つらない・うつさない」対
策を守っていきましょう。



特集 女性大学第32期生卒業式

地域の活性化

けた取り組みを行つてまいります。



2月13日(木)、本店大会議

室において女性大学第32期生の卒業式を開催し、受講生48名が卒業を迎えられました。受講生は年間の活動を通して、野菜づくり講習会や花の寄せ植え、日帰り研修などに参加され、多くの知識とお互いの親睦を深めてきました。

卒業式では、学長の湯貫秋男組合長が「女性大学は食と農を課題に、文化・福祉・教育などの学習を通じて新しい仲間づくりを目指すことが目的です。これまでの学習を活か

していただき、農業振興の応援団として今後のご活躍を期待しています」と卒業を祝福し、修了証書授与と皆勤賞28名へ記念品を贈呈しました。

また、卒業生を代表して志柿地区の永野厚子さんが「女性大学では、野菜づくりや工芸マーク商品講習会、花の寄せ植え、日帰り研修などの学習や活動を行いました。この体験が私の宝となり大切な思い出です。これからも新しい出会いと発見を求めてチヤレンジし続けます」と謝辞を述べられました。

女性大学では、今後も多くの地域女性の皆さんに参加していただき、自己改革の一つである「地域の活性化」へ向



皆勤賞の記念品贈呈



修了証書授与

挨拶を行う湯貫組合長



謝辞を述べる永野さん



女性大学卒業式
記念講演

「認知症予防とケア」

当組合においても、全職員が認知症サポーター養成講座を受けており、認知症に対する正しい知識と理解を持つて、地域へ手助けてきるようにしていきます。

講演では、認知症の症状や頭と体を使った認知症予防体操、認知症の方への接し方などについて説明があり、楽しみながら予防法・ケア法を学びました。川畑さんは、「天草では5人に1人が認知症を迎える時代になっています。認知症の方に接する時は、話しかける前に気づいてもらい、手を握つてゆっくり話すことが大事です」と話されました。



2月13日(木)、女性大学卒業式の前に株Re学の川畑智さんを講師に招き、「認知症予防とケア」「認知症予防と共生時代への備え」と題して記念講演を行いました。

2月13日(木)、女性大学卒業式の前に株Re学の川畑智さんを講師に招き、「認知症予防とケア」「認知症予防と共生時代への備え」と題して記念講演を行いました。



JA本渡五和の自己改革へ向けた取り組み その25

JA事業講話 「農協・農業への理解促進」

J A本渡五和では、アグリキッズや女性大学、アグリフェスタなどの事業を通じて、地域の皆さんとの絆づくりを行うとともに、農協・農業への理解促進への取り組みを行っています。

1月31日には、営農課の山下清弥職員が稲南中学校の1年生の生徒へJA事業の紹介と食と農の関係について講話を行いました。後日、生徒の皆さんよりお便りをいただきましたので、一部をご紹介いたします。



●私は『農家の方が減っているのは知っているけど、私には関係ない…』と思っていた。だけど、お話を聞いて『大変そうだけど、楽しそう!』と、少し興味がわいてきました。これから、少しずつ農業のことを考えてみようと思います。
吉田 莉乃さん

●私は講話で農業が成り立つしくみや、いつも食べる物はたくさんの人人が努力して作っていることを知りました。農業をするという選択は今までなかったので、今回、新しく農業を知ることができ良かったです。本当にありがとうございました。
今里 悠莉さん

稲南中学校の皆さん、お便りありがとうございました。 本渡五和農業協同組合 役職員一同

未来を拓く協同組合 JAと農業

JAと農業 監修=JCA
(日本協同組合連携機構)

世界とともに目指す「SDGs」

国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」という言葉が、世界中で注目を集めています。「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」など17の目標が掲げられており、この目標を達成するために各国政府はもちろん、民間の企業や団体の参加と貢献が期待されています。協同組合も達成に当たり役割を果たすべき民間セクターの一つとして明記されており、国際協同組合同盟(ICA)は目標達成に向けた貢献を約束しています。

日本の協同組合でも、例えば日本生協連が「コープSDGs行動宣言」を採択し行動をすすめるなど、SDGsへの取り組みが動き出しています。JA全国女性協も「第65回通常総会の特別決議」の中でSDGsに取り組むことを決定しています。持続可能な社会の実現に当たっては、食料輸入による環境負荷や食品ロスなど、食や農に関連する課題も多く残されています。JAも地域社会の課題解決に努めるとともに、SDGsの達成へ貢献していきます。

【持続可能な開発目標(SDGs)】(エスディージーズ)
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されており、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、17の目標と関連する169の具体的なターゲットが定められています。発展途上国を対象にしたミレニアム開発目標(MDGs)を引き継ぐもので、先進国も含め取り組むことされています。

語句解説

耕そう、大地と地域のみらい。

J A本渡五和果樹部会は2月21日(金)、本店会議室において令和2年産果樹部会生産者大会を開き、部会員と関係者ら約80名が出席されました。

主催者を代表し、中山隆幸部会長が「我々生産農家は、消費者ニーズにあつた果実をより多く出荷していく必要があります。令和2年産においても果樹生産対策を徹底していきましょう」と挨拶。

大会では、令和2年産柑橘生



産・販売方針(案)について協議を行い、重点事項として①環境に優しく安全・安心を重視した果物づくり②基本管理の徹底による生産性の向上③優良品種系統への計画的な更新と早期結実技術の習得④園地基盤整備、省力化機械導入を掲げ、令和2年産の果樹生産へ向け結束を深めました。

JA植木まつりに
行つてきました

地域の活性化
日帰りバスツアー
年金友の会本部主催

2月5日(水)、年金友の会本部主催のJA植木まつり日帰りバスツアーを開催し、会員182名が参加されました。今年も参加者が多く、大型バス5台を手配して植木まつり会場へ移動しました。当日は天候も良く、皆さんは会話を楽しみながら花や植木などを鑑賞され、ひと足早い春を感じられていたようでした。

このほか年金友の会では、ウオーキング大会やグラウンドゴルフ大会などの各種イベントの開催や、年金日と誕生日に卵などのプレゼントを行い好評の声をいただています。今後も会員の輪を広げ、一緒に楽しく活動できるよう皆さまのご入会をお待ちしていますので、是非JAの輪をお入りください。

3月5日(木)、みかん選果場でジューシーオレンジの出荷が始まりました。今年産は、好天に恵まれ「サ

イズが中心で、品質も良く、数量も例年並みで順調なスタートを切りました。選果場では、外

観や食味などを入念に確認し、

主に東北や関東、名古屋方面へ

出荷。夏井場長は「香りも良く、

さっぱりとした食味で後味も爽やかに仕上がっています」と話

してきました。

出荷は6月末まで続き、目標

出荷量700tを計画しています。



本渡南支店と五和西支店のみなさん

ニュース&トピックス
農業者の所得増大

ジューシーオレンジ 出荷始まる(河内晩柑)



JA 組合員の皆さまへ

新型コロナウイルスの対応について

当JAでは、組合員・利用者の皆さま及び職員の健康と安全を第一に考え、**新型コロナウイルス**に「うつらない・うつさない」対策を下記の通り実施しています。

1. うがい、手洗い、消毒の徹底
2. 消毒液の備え付け
3. 出勤前に必ず自宅で体温を測り、体調管理を徹底



ご来店の際には、消毒液を準備しておりますので、ご協力をお願いいたします。

天草市住民健診のお知らせ

住民健診の申込みはお済ですか？

申込み締切 4月17日(金) ※締切後も随時受付可能です。

住民健診の対象者には、市役所から住民健診の申込書が郵送されます。（天草市から3月下旬に郵送予定です。）また、住民健診は天草市からの補助金がありますので、1~2割程度の個人負担金で受けることができます。

病気の予防・早期発見・早期治療のため、年に一度の健康診断を受けましょう。

【住民健診の問合わせ先】

天草中央保健福祉センター

☎ 24-0620

【健診実施機関】

JA 熊本厚生連 健康管理センター

☎ (代表) 096-328-1250



理事会だより

令和2年2月27日に、本店第3会議室において理事会が開催され、次の議案が審議・承認されました。

実績報告 令和元年度1月末事業実績報告について

第1号議案 介護休業規程の一部改正について

第2号議案 役員推薦委員の選出及び区域集会の日程について

第3号議案 一般貸倒引当金の計上における予想損失率（貸倒実績率の補正）について

報告事項

1. 令和元年度上半期監事監査の指摘事項に対する処理（年次報告について）
2. 自主検査（1月）結果報告について
3. 新規就農サポートセンター設置への参加について
4. 普通期玄米の精算について
5. 経済事業関連の実績について
6. JAグループ熊本旅行について
7. 「組合員・利用者接点の再構築」にかかる今後の取組みについて
8. 新型コロナウイルスにかかる対応について

イノシシから農作物を守りましょう



侵入防止柵は正しく設置し、正しく管理しましょう。

① 侵入防止柵設置の最大のポイント

イノシシ達が柵内の作物を、柵ごしに食べることができると、「柵があるところには餌がある」と学習し、せっかくの柵が、餌づけのための柵となってしまいます。また、通電していない電気柵やスキマのある柵、農地をコの字に囲った柵も、餌づけのための柵となります。注意しましょう。

② 電気柵の設置ポイント

イノシシは、鼻先以外ほとんど電気ショックが効きません。イノシシの鼻の高さ（目安は地表から20cm）に線を張りましょう。確実なアースや草刈りによって漏電を防止し、一日中通電するようにしましょう。

③ 金網柵の設置ポイント

イノシシは鼻やキバで物を持ち上げます。柵が持ち上がらないように、網の横線や出っ張りのある部分は、柵の内側になるようにし、支柱はしっかりと打ち込みましょう。

電気柵の設置及び管理の要点

① 電気柵の特徴

電気柵は、イノシシに感電による電気ショックを与え追い払い農作物を守るシステムです。電気ショックによる痛みで、柵は危険と学習させる心理柵です。最初が肝心なので24時間通電することが重要です。

また、除草など維持管理を怠ると漏電により電圧低下し、侵入されることになります。

② 電気牧柵の設置

●アースの設置…効果の決め手はアースです。正しく取り付けましょう（湿り気のある所に、

アース棒を全て埋めます）。

- 柵の高さ…感電しやすい鼻先に当たりやすいように、最下線を地面から15~20cmの高さに、その上に15~20cm間隔で、2段から3段張ります。
- ガイシ（電線と支柱をつなぐ絶縁体）は、電線が外れにくくするため、ほ場の外側を向くように取り付けます。

電気柵の管理

- 毎週、アースつきの電圧テスターで電圧（5,000V以上）を確認しましょう。電圧が下がっている場合は、雑草が電線に触れる等で漏電していないか確認を行います。問題ない場合は、電源を交換して再度確認しましょう。
- 漏電防止のため電線の下の草刈りを適度に行い、電線の切断や支柱のずれがないか、定期的に確認します。
- イノシシはもともと昼行性の動物です。夜だけの通電ではなく、昼夜通電させましょう（最初が肝心です。通電していない時に侵入したイノシシは、通電しても侵入します）。
- 栽培終了後に電気牧柵を撤去しない場合、通電しないと電線を切られるおそれがあるため、常時通電させておきます。

イノシシ捕獲用箱わな 貸し出しについて



JA 本渡五和では、イノシシ捕獲用箱わなを狩猟免許取得者の組合員の方へ貸し出しています。 詳細については、本店営農課（23-2231）へご連絡ください。

加工原料タケノコ（缶詰用）出荷しませんか

■期 間 令和2年4月上旬～4月下旬（予定）

■集荷場所 本渡北集荷所

初めての方も
歓迎

■出荷規格

- 根切りは出荷日当日に行い軽く包丁で水平に切る
- 必ず下部にイボを二段つける
- 規格毎に重量を量りコンテナで出荷する

※コンテナはこちらで用意します。出荷日程、集荷時間など不明な点があれば、お問い合わせください。

■選別基準

規 格	重 さ	長 さ
小	100g以上1kg以下	10cm以上26cm以下
中	1.8kg以下	33cm以下
大	3kg以下	40cm以下
特大	3kg以上	50cm以下

お問い合わせ 本店営農課 ☎ 23-2231

お茶工場操業について

今年もお茶の摘み取りが近くなっています。生育状況に応じて工場操業を開始していくますが、現在4月中旬以降を予定しております。

操業日等のお問い合わせは本店営農課にご連絡ください。品質向上のため、適宜摘み取りはもちろんですが、安全安心なお茶製品づくりにご協力ください。



（操業日等のお問い合わせ）

●本 店 営農課 ☎ 23-2231

（お茶工場の連絡先）

●本町工場 旧本町支所 ☎ 23-3535

